

2021年9月4日

病院内における新型コロナウイルス感染症患者発生に関するお知らせ

この度、社会医療法人社団慈生会等潤病院において入院患者3名、職員5名、計8名の新型コロナウイルス感染症患者が発生しましたので、お知らせいたします。

診断日別の発生状況は、9月1日 職員1名・患者1名、2日 患者1名・職員1名、4日 患者1名・職員3名です（9月4日現在）。足立保健所に報告しその対応を協議中ですが、2名の患者は感染症診療病院に転院し、1名転院調整中、職員5名は出勤を停止して保健所の指示に従い療養しています。

感染経路については、現時点で調査中で、保健所による濃厚接触者と判断された方だけではなく、病院として検査対象を広げているところです。今回の3名の入院患者さんについては、新型コロナウイルス疑似症（疑い患者）として救急搬送され、入院加療が必要と判断された患者で、個室隔離の上PCR陰性を確認して大部屋に転床したもので、3名は同室者でした。

感染患者発生に伴い、当該病棟の入退院の停止や新型コロナウイルス感染症疑い患者の救急受入れ停止などの対応を取りますが、新たな診療制限やその解除につきましては、今後も保健所や区と連携して対応して参ります。

当院は指定二次救急医療機関、東京ルールにおける地域救急医療センター、新型コロナ疑い地域救急医療センターとして、区内外の救急搬送患者の受入れに尽力して参りました。昨年8月にもクラスターが発生しましたが、救急搬送され入院した疑い症例で、個室管理でPCR陰性を確認後に大部屋に転床後の感染発生で、今回と同じ経過でありました。

当院では昨年の厚生労働省クラスター班の調査結果・感染対策指導を遵守し、地域医療を守り救急病院としての責務を果たすために、感染対策に対する教育とその実践について、最大限の注意を払いながら診療して参りました。

しかし、8名の感染者が発生したことに対しは甚だ遺憾ではありますが、大きな責任を感じております。患者様、関係する皆様におかれましては、多大なご心配とご迷惑をおかけしたことを心よりお詫び申し上げますと共に、1日も早いご快癒を祈念申し上げます。

今後は感染対策を更に徹底させて、引き続き地域医療のために努力する所存です。今後、状況が変わる場合には、速やかに情報を開示して参ります。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

等潤病院理事長・院長 伊藤雅史